

平成29年度情報セキュリティに関する 懸賞論文の募集

<p>公益財団法人 防衛基盤整備協会では、情報セキュリティに関する意識の向上を目的に、情報セキュリティに関連する懸賞論文を広く募集しています。</p>	
<p>テーマ</p>	<p>1 インターネット社会に潜むセキュリティ脅威とその対策について 2 中小企業における情報セキュリティ対策について 3 自由課題</p>
<p>募集期間</p>	<p>5月12日（金）～8月31日（水）</p>
<p>表彰</p>	<p>1 賞金：最優秀賞 1件 50万円 佳 作 3件以内 10万円</p>
<p>表彰状贈呈式及び祝賀会</p>	<p>1 時期：12月14日（木）予定 2 招待者：防衛事務次官、防衛審議官、防衛装備庁長官、大臣官房長、防衛省各局長 等</p>
<p>受賞作品の紹介等</p>	<p>1 協会ホームページへの掲載 2 セキュリティ産業新聞への掲載 3 受賞作品の小冊子を作成・配付（配付先：各省庁、外郭団体（情報処理推進機構、日本セキュリティマネジメント学会等）、各都道府県公立図書館、防衛調達関連企業等） 4 最優秀賞受賞者は、平成30年2月開催予定の情報セキュリティ講演会（例年約170名の参加）での講演</p>
<p>詳しくは、次ページ記載の「平成29年度情報セキュリティに関する懸賞論文募集要項」をご覧ください。</p>	
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒160-0003 東京都新宿区本塩町 21 番地 ラボ東京 7 階 公益財団法人 防衛基盤整備協会 防衛基盤研究センター 業務部 企画課 担当：五十嵐 TEL 03-3358-8754 FAX 03-3358-8735 E-mail:koueki@bsk-z.or.jp URL https://ssl.bsk-z.or.jp</p>

平成29年度情報セキュリティに関する懸賞論文募集要項

1 目的

公益財団法人 防衛基盤整備協会は、公益目的事業として、広く国民の皆様に対し、情報セキュリティに関する正しい知識を広め、理解を深めていただくために各種の事業を行っております。

この中で情報セキュリティに関する懸賞論文を募集・表彰する本事業は、多くの方から論文を応募していただくことを通して、情報セキュリティ意識を高めるとともに、情報セキュリティ技術の発展を促し、多くの皆様に情報セキュリティに関する理解を深めていただくことを目的にしております。

2 情報化社会のセキュリティの現状

情報通信技術は社会経済や安全保障の基盤であるばかりでなく、個人の生活レベルにおいてもあらゆるものが依存しています。しかし、コンピューターやネットワークの脆弱性を突いて攻撃を仕掛けてくるサイバー攻撃は情報化社会の大きな脅威となっています。

サイバー攻撃の脅威は、企業や組織の規模の大小や業種・業界に関係なく、また、企業や組織に重要な情報がないとしても、重要な情報を持つ取引先があれば、取引先への攻撃の踏み台にするために侵入される可能性があります。サイバー攻撃の手法は日々、巧妙化・複雑化し、セキュリティリスクはかつてなく高まっています。

特に大きな問題になっている標的型攻撃では、攻撃者は特定の企業や組織を狙って、従業員宛てにウィルスを添付したメールを送付し、従業員がメールを開くとPCにウィルスが感染する。攻撃者はその感染したPCを踏み台にして、社内ネットワークに侵入します。攻撃者は侵入に成功するまで次々と執拗に攻撃を繰り返し、その企業・組織が保有する顧客情報や技術情報などを盗み出します。

さらに最近では、個人ユーザーに対してウィルスやフィッシング詐欺によるインターネットバンキングの認証情報やクレジットカード情報の窃取、PCやスマートフォン内のファイルの暗号化や画面をロックすることにより身代金を要求してくる「ランサムウェア」による被害も増大しており、サイバー攻撃による被害は一向に減る気配を見せておりません。

今大きく懸念されているのが I o T の導入とセキュリティの確保です。あらゆる「モノ」がインターネットと接続される I o T は日常生活の質を向上させる大きな可能性を持つと同時に、インターネットを利用する I o T 製品はパソコンやそれに対応した機器なら当然とされるセキュリティ上の脅威についても軽視することはできません。

インターネットはあらゆる場面で便利さをもたらす一方で、このような情報セキュリティ上の脅威に対して、今後、どのようなセキュリティ対策を講ずれば良いのでしょうか。

今年度の懸賞論文のテーマを次の三つとしました。それぞれのテーマにつきまして、事例や取り組みの手法、提案、考察又は創造性に富んだアイデア・提言を論文にまとめてください。

なお、読み手がそれぞれのテーマについて理解を深められるよう、具体的かつ分かり易い内容の論文を期待しております。

(1) テーマ1

「インターネット社会に潜むセキュリティ脅威とその対策について」

自動車や家電製品及び医療機器等、様々なものがインターネットとつながり、生活をより便利なものへと変えています。

「モノ」がインターネットに接続され、インターネットを介して相互に情報をやりとりする I o T は、日常生活の質や利便性を向上させる大きな可能性を秘めています。

しかし、その一方で、悪意を持った攻撃者は I o T 機器を狙ったサイバー攻撃を仕掛けることが考えられます。

例えば、看護や介護の世界において、GPS、カメラ、医療機器等とコンピューターとの接続による遠隔地での状況確認や、医療機器とコンピューターとの接続による病状の管理等、治療に有効活用することができますが、反面、悪用された場合は、人命に重大な影響をもたらす恐れがあります。また、自動車へのインターネットやコンピューターの活用も進んでおり、自動車ハッキングが大規模に行われるのも時間の問題とも言われています。自動車が人質にされたり、自動運転車のハッキングで手に入れた位置情報がハイジャックに利用されたりするほか、不正な監視や情報収集など、自動車を狙う様々な脅威が考えられます。I o T デバイスがサイバー犯罪者に悪用されることが危惧されます。使用者としては、各自がセキュリティに対する意識を持つことが重要であります。

便利さだけでなくセキュリティリスクも伴うインターネット社会のセキュリティ対策をどのように進めるべきか、どのように啓発していけばよいのかについて事例や取り組みの手法、提案、考察又は創造性に富んだアイデア・提言を論文にまとめてください。

(2) テーマ2

「中小企業における情報セキュリティ対策について」

近年は中小企業においても企業活動を行う上で、インターネットは重要な手段となっています。しかしながら、中小企業の情報セキュリティ対策の取り組みは大規模な企業・組織に比べ、対策要員の確保や設備の面からも十分とは言えません。サイバー攻撃者は、企業固有の営業秘密や顧客から預かった重要な情報を窃取したり、大規模な企業・組織の情報の窃取を目的に、サプライチェーンを構成する情報セキュリティ対策の比較的弱い中小企業を攻撃し、大規模な企業・組織の情報システムに侵入するために必要な情報の入手を行うことが危惧されます。

このような脅威に対し、情報セキュリティ対策に投入できる人と資金に限りのある中小企業の情報セキュリティ対策をどう進めるべきか、どのように考えていくべきなのか、について事例や取り組みの手法、提案、考察又は創造性に富んだアイデア・提言を論文にまとめてください。

(3) テーマ3

「自由課題」

情報セキュリティにおいて、皆様が日ごろ重要だと考えておられる視点からの、取り組みの事例や提案、創造性に富んだアイデア・提言を論文にまとめてください。

3 応募資格

情報セキュリティに関心のある方で、この「情報セキュリティに関する懸賞論文募集要項」に同意される方です。

4 応募規定

- (1) 応募作品は本人のもので、日本語の論文とし、4,000～8,000字以内とします。(ただし、表紙、目次、添付資料、データ・図表、参考資料、ページ番号は文字数に含みません。) 図表や写真はカラーでも構いませんが、印刷の関係上、白黒となります。
- (2) 表彰の対象は、募集要項により応募のあった懸賞論文 ただし、論文は未発表、未提出のものであり、既発表論文、既提出論文の応募はできません。平成29年12月14日(木)当日まで発表予定の無いものとし、発表済みの論文に著しく似ている論文は、審査対象外となることがあります。
- (3) 応募期間は、平成29年5月12日(金)～8月31日(木)です。(当日の消印有効)
- (4) 図表等を他の文献から転用した場合は、その出典元を明記してください。 引用・転載の明記がなく引用・転載された論文は、審査対象外となる場合があります。
- (5) 応募作品の様式等
 - ア 論文はワープロソフト(MS-Word(バージョン:Word2013以降))で作成してください。手書き原稿は、審査対象外となります。
 - イ A4版 横書き 34行×36字を標準とし、MS明朝12ポイント。余白は、上35mm、下30mm、左30mm、右30mm。
 - ウ 論文提出方法は、メール、FAX又は郵送とします。
 - エ 論文の提出に当たっては、応募原稿の表紙に、「ご自分の書かれた内容にふさわしい具体的なタイトル」を表示して下さい。なお、氏名、連絡先、連絡手段を必ず記載して下さい。
 - オ 論文本文には必ずページ番号を打って下さい。

5 表彰の内容

受賞者(個人又はグループ)には、次の賞状等を贈呈

- (1) 賞状
- (2) 賞金(最優秀賞1件:50万円、佳作3件以内:各10万円)

6 表彰状贈呈式及び祝賀会

(1) 時期及び場所

12月14日(木) 予定 ホテルグランドヒル市ヶ谷

(2) 招待者

防衛事務次官、防衛審議官、防衛装備庁長官、大臣官房長、防衛省各局長 等
細部は別途計画

7 選考等

(1) 論文は部外及び部内の専門家で構成する「情報セキュリティ論文選考等委員会」において公平、適正に審査及び選考を行い、受賞者は、平成29年11月上旬に本人へ通知します。

(2) 表彰式は12月14日(木)を予定しています。受賞者は表彰式に出席して頂きます。

(3) 委員会委員から、提出された論文の内容についてお尋ねする場合がありますので、予めご了承ください。

8 作品の取扱い

(1) 応募された作品は返却いたしません。

(2) 受賞作品の著作権は当協会に帰属するものとします。受賞作品の無断転載・複製は禁じます。

9 受賞作品の紹介等

(1) 受賞作品のホームページへの掲載

受賞作品は、12月の表彰式終了後、当協会のホームページに掲載します。

(2) 受賞作品のセキュリティ産業新聞への掲載

受賞作品は、12月の表彰式終了後、セキュリティ産業新聞に掲載します。

(3) 受賞作品を掲載した小冊子の作成、配付

受賞作品を掲載した小冊子を作成し、各省庁、外郭団体(情報処理推進機構、日本セキュリティマネジメント学会等)、各都道府県公立図書館、防衛調達関連企業等に配付するとともに、当協会主催の情報セキュリティ講演会等(延べ約350名)の参加者に配付します。

- (4) 最優秀賞受賞者は、平成30年2月に開催予定の情報セキュリティ講演会において、講演していただく予定です。

10 その他

- (1) 表彰式参加にあたり、肖像権は主催者に帰属いたします。
- (2) 応募にあたり記入頂いた個人情報は、審査結果通知に付随する事項を行うためのみに使用いたします。
- (3) 受賞者の所属組織名（企業名、学校名など）及び氏名は公表させていただきます。

11 過去の受賞作品

<u>平成27年度</u>	<u>平成26年度</u>	<u>平成25年度</u>	<u>平成24年度</u>
<u>平成23年度</u>	<u>平成22年度</u>	<u>平成21年度</u>	<u>平成20年度</u>

12 応募及び問い合わせ先

公益財団法人 防衛基盤整備協会 防衛基盤研究センター

業務部企画課 担当：五十嵐

Tel：03-3358-8754 fax：03-3358-8735

E-mail:koueki@bsk-z.or.jp <https://ssl.bsk-z.or.jp>

〒160-0003 東京都新宿区本塩町2-1番地 ラボ東京7階